

もくじ

- ・ だいく おにろく
大工と鬼六

だいく おにろく
大工と鬼六

げんさく 原作： にほん むかしばなし 日本の昔話

イラスト： hori

へんしゅう 編集： YellowBirdProject

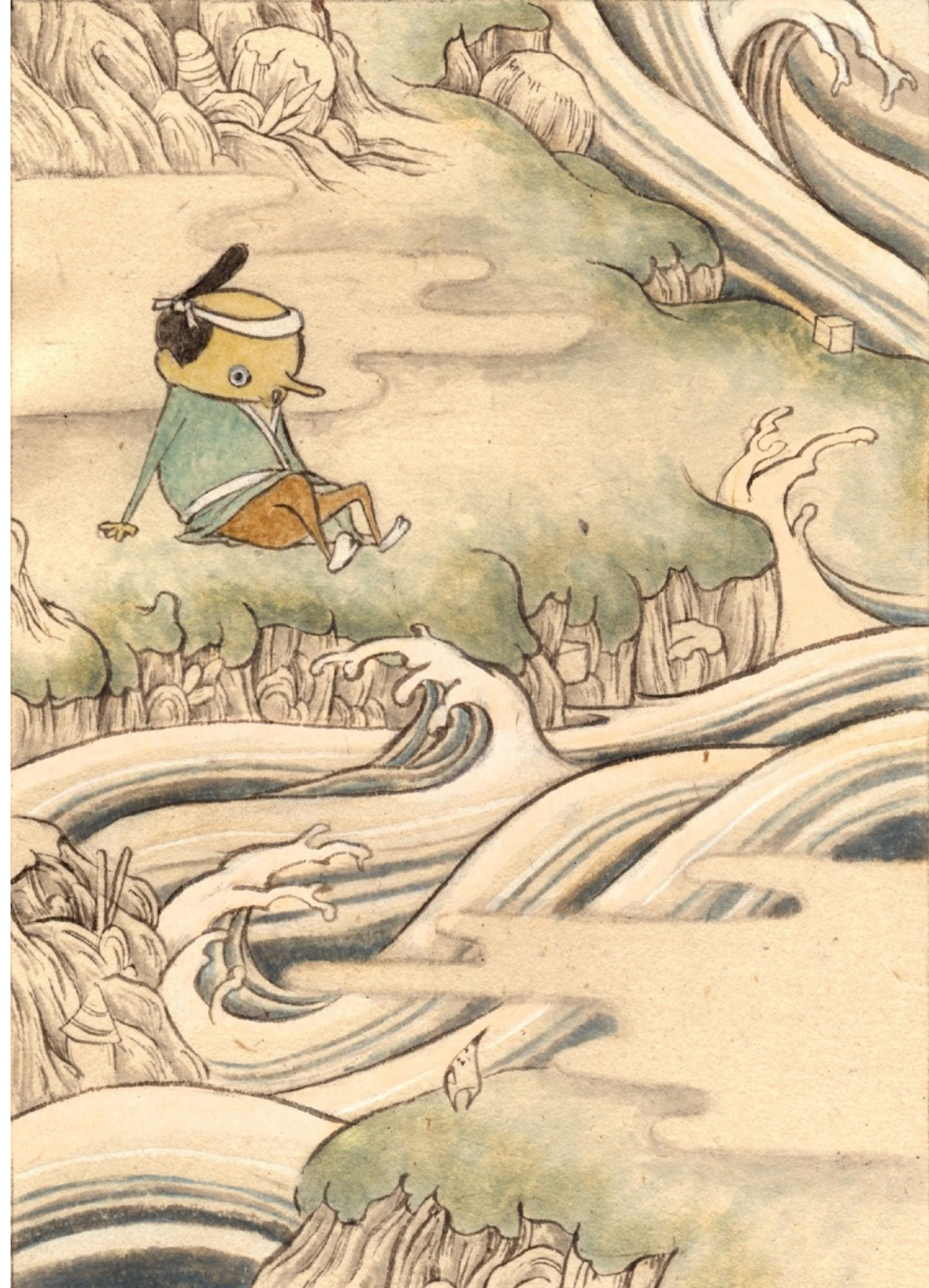
むかしむかし、ある村に、たいへん流れの速い川がありました。あまりに流れが速く、なんと橋をかけても、雨が降る度に、橋はこわれて、流されてしまいます。

そこで村の人々は、町まで行って腕の良い大工をやとい、こわれない丈夫な橋を作ってもらうことにしました。

こうして村に、とても腕の良い大工がやってきました。

「うひゃ～！こんなに流れの速い川、おいら初めて見た！」

大工は、あまりに流れの激しい川を見て、おどろいて腰を抜かしてしまいました。



5

するとその時、川の中から、一匹の鬼が姿を現しました。大きな体に、二本の角。耳までさけた口には、するどいきばが生えています。

「おい、お前！ここはおれの縄張りだ。ここになにをしにきた！」

「ひえ～、た、助けてくれ～！おいらただ頼まれて、この川に橋をかけにきただけだ。お願いだから見逃してくれ～・・・」

「この川に橋をかけるだと？そうだなあ・・・よし、人間。おれがお前の代わりに、ここに橋をかけてやろう」

「え、ほ、本当ですか！」

「ただしその代わりに、お前の顔に付いている、まん丸い目玉を二つ、おれがもらってやる。いいか、約束だぞ！」

鬼はそう言うと、川の中にもぐっていきました。

